



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行: 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL: 045-511-3654 FAX: 045-511-3644
HP: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoi-ku/si-dou2/koukou/sfh/>

少しずつ暑さも和らぎ、秋の気配が漂ってきました。皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

夏季休業中も地域向けの事業、卒業生による進路ガイダンスなど多くの事業が展開されました。また、科学系の大会やコンクールにチャレンジした生徒もいます。2学期の始業式時にコンクール等で成果を上げた生徒が紹介されました(本号受賞一覧参照)。2年次生は、サイエンスリテラシーⅡ分野別中間発表会を終え、うち優秀者20名は9月6日(土)の理研一般公開と9月20日(土)・21日(日)に開催した蒼煌祭(そうこうさい)の際に発表を行いました。

文化祭「蒼煌祭」の様子の一部は追ってHPで紹介させていただきます。

【夏休みプラネタリウム上映会】(7月28日・31日)



7月28日、鶴見区役所との協働で「夏休みプラネタリウム上映会」を開催し、岸谷小学校と生麦小学校の児童42名が参加しました。内容は、本校科学技術顧問の遠山御幸先生によるモバイルプラネタリウムの上映のほか、電子顕微鏡体験、学校内見学では天文ドームや校内の生き物の観察も行いました。参加者からは、「星を見たくなった」「顕微鏡で見るシャープペンシルの芯は平らではなかった」「ウーパールーパー、カブトガニ、ウツボがいてびっくりした」「サイエンスフロンティア高校の生徒になりたい」などの声が寄せられました。最後には、本校の天文部が撮影した「オリオン大星雲」「月」「天文観測ドーム」のポストカードが記念に手渡されました。

7月31日は、井土ヶ谷小学校児童40名、本校の近隣の方50名を招いての同様の「プラネタリウム上映会」・学校見学会を開催しました。参加した近隣の方からは「いつも鳴いているニワトリを見ることができた」との感想もいただきました。また、屋上から周囲を見渡し、昭和から今までのこの地域の変遷状況などのお話をされているお年寄りの方もいらっしゃいました。

【第4回 高校生バイオサミット in 鶴岡】(8月3日～5日)

バイオ研究の世界的な拠点である山形県鶴岡市で8月3日～5日に開催された「第4回高校生バイオサミット in 鶴岡」に内田瀬奈さん(3年次)が参加し、文部科学大臣賞を受賞しました。「粘菌はいかにして餌を見つけるか」をテーマにポスター発表を行いました。審査員の方々からは厳しい質問を受ける場面がありましたが、緊張することなく答えることができたそうです。

全国から46名が参加した成果発表部門において、文部科学大臣賞は最高の賞といえます。内田さんは「研究に行き詰まることがあっても諦めずに継続してきた本当に良かった。これからも、自分の中の“なぜ?”や“不思議だ!”という感情を大切にしながら、解明されていない分野の研究を進めていきたい」と抱負を語っています。なお、指導にあたった本校教諭も、優秀研究指導者として表彰を受けました。



【夏期講習 GS (グローバル・スタディーズ)】(8月4日)



今年も夏季休業中に3期(8/4～8、8/18～22、8/25～29)に分けて【夏期講習】を実施し、多くの生徒たちが登校しました。

今回ご紹介するのは、栗原校長自らが講師を務めた1年次対象のゼミ「GS(グローバル・スタディーズ)」です。この講座では、世界地図を逆さまに見たり、グローバル社会で活躍している日本人の文章を読んだりしたうえでお互いの意見を積極的に述べ合いました。「グローバル人材に必要な教養と多角的、批判的なものの見方」を、参加者は少し身につけることができたようです。

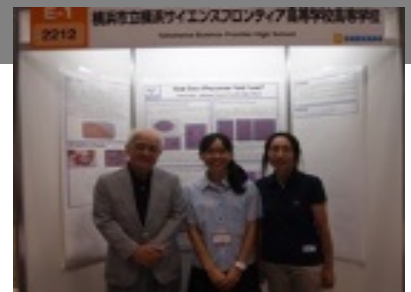
SGH(スーパーグローバルハイスクール)でもある本校は、広い視野と高い視点を持ったグローバル・リーダーの育成を目指して、さらに新たな講座や研修を用意していきます。

【平成26年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会】

8月6日(水)・7日(木)パシフィコ横浜で【平成26年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会】が開催され、今年度は国内203校、海外招待校23校が発表を行いました。両日合わせて5000名の高校生が来場し、各校のブースではレベルの高い質問や議論が行われていました。

本校からは内田瀬奈さんが「粘菌はいかにして餌を見つけるか」というタイトルの発表を行いました。

来年は、会場を大阪に移して開催される予定です。



【第2回YSFH卒業生による進路フォーラム】（8月8日）



8月8日（金）の午後1時より、本校ホール・交流センターにて、【第2回YSFH卒業生による進路フォーラム】が開催されました。在校生のために、約70名の卒業生が母校に集まりました。

はじめにホールで卒業生の自己紹介があり、その後ホールでは講演会、並行して交流センターでは大学別、学問系統別にブースを設けての相談会が行われました。両会場では在学生に向けて、大学受験までの道のりや現在の大学生生活の具体的な様子などが伝えられました。在校生は、普段接することのない先輩方の貴重な話を聞くことができ、有意義なひとときを過ごすことができました。卒業生の熱い想いに感謝します。

【第20回スーパーコンピューティングコンテスト SuperCon2014】（8月18日～22日）

8月18日（月）～22日（金）に東京工業大学大岡山キャンパスで開催された【第20回スーパーコンピューティングコンテスト SuperCon2014】にチーム名「overflow」として森田隼人さん（3年次）・川原大輝さん（3年次）が参加し、本選に進出した21校のうち4位入賞という結果を収めました。

難しい課題が出題され、最初は2人とも全くアイデアが浮かばずに苦戦しましたが、何とか締切の1時間前に作業を終え、提出することができました。

最終日の成果発表会で8チームが採点不能であったことを聞き、最初は不安でいっぱいでしたが、その後の懇親会で4位であることがわかりました。一安心したと同時に、3位とは1スコア差だったこともあり、2人は悔しさもにじませていました。



【化学グランプリ2014】（8月22日・23日）



8月22日（金）～23日（土）に宮城県の東北大学川内北キャンパスで【化学グランプリ2014】の二次選考会（実験試験）が行われ、本校生徒の若崎翔吾さん（3年次）が銀賞を受賞しました。

〈若崎さんの感想〉

3年間挑戦し続け、初めて本選に出場して銀賞を貰うことができました。本選には沖縄から北海道まで全国から化学好きが集まっていた、2日間でしたが非常に有意義な時間を過ごせました。今回で一番良かったと思うことは、遠く離れているながら同じ趣味を持つ友達ができただけです。有名校の中には1校から7人も出場しているところもありました。近い将来、サイエンスからもそれ以上の人数が本選に行けることを願って、この思いを後輩に託します。頑張ってください！

●受賞一覧●

- 応用情報技術者 国家資格取得 3年次 森田隼人
- 第8回高校生「詩のボクシング」神奈川大会 団体戦優勝（文芸部）
3年次 多賀早也佳 吉岡莉音 1年次 伊藤真
- スーパーコンピューティングコンテスト（スパコン2014）4位（情報工学部）
3年次 森田隼人 川原大輝
- 2014物理チャレンジ 実験レポート優良賞 1年次 星野恵佑
- 化学グランプリ2014 銀賞 3年次 若崎翔吾
- GEOSSET高校生プレゼンテーションコンテスト2014 「Special prize for non-English Speaking Students」
3年次 與儀萌香
- バイオサミットin鶴岡 文部科学大臣賞 3年次 内田瀬奈

●今後の予定●

- ・学校をひらく週間（10月17日（金））・1年次・2年次 選択科目ガイダンス
- ・学校説明会（11月1日（土））・ysfFIRST国際科学フォーラム（11月22日（土））

※2年次 マレーシア研修旅行は、平成27年3月に延期して実施します。